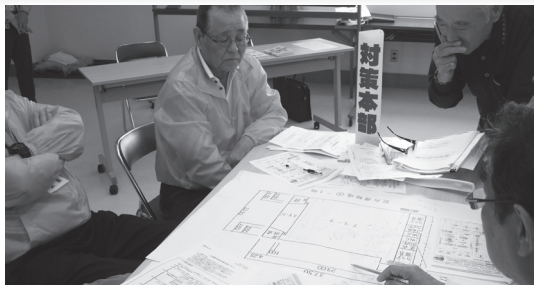


生活安全推進協議会と連携しながら、地域を守る活動に多くの皆さんが取り組んでいます。

防災

15地域の地域づくりに自主防災隊



「どの様な被害が想定されるか」「避難が困難な人はいるか」などを再確認をしています。ま

ちのまちの危険箇所はどこか」

いつ起こるか分からない有事に備え、15の地域づくり組織には、自主防災組織が結成されています。各々では、独自の防災訓練や防災備蓄品の管理、避難所運営マニュアルの作成などに取り組んでいます。

た、避難所HUG訓練では、避難所を開設したときに起こるさまざまな出来事にどう対応するかなどを模擬体験しています。普段からの地域で考える防災の取り組みは、災害時の助け合いに大きな意味を持ちます。



防犯

青色回転灯パトロール車は、市内8地域で巡回中



青色回転灯を装備した車を見つけたことがありますか。市内では、自分たちの地域は自分で守ろうと、8つの地域(桔梗が丘、つつじが丘、青蓮寺百合が丘、すずらん台、蔵持、川西梅が丘、比奈知、美旗)で青色回転灯装着車による防犯パトロールが実施されています。

美旗地域では、昨年9月から約40人のボランティアで週3回、青色パトロール活動を開始。街灯がなく暗い道、見通しが悪い交差点、不審者が入り込みやすい死角がないかなど、児童の下校時間帯を中心にパトロールしています。活動内容は記録してメンバー同士で情報を共有し、不審者や危険箇所を発見した場合はすぐに警察や行政、学校に通報する体制にしています。



交通安全

登下校時の見守りボランティア登録 266人



市内の小中学校では、学校生活支援ボランティアとして、図書室や教室での読み聞かせ、校舎美化・校庭の整備などさまざまな形で学校生活支援にご協力いただいています。中でも登下校時の見守りサポートとしてのボランティア登録数は、266人に上ります。(3月末現在)

「おはよう」「行ってらっしゃい」「気を付けて」「危ないよ」など、子どもたちへ声掛けをしながら、毎朝通学路の横断歩道の前に立って子どもたちをサポートしたり、集団の列に入り登下校を見届けていただいたりする多くのボランティアさんがいます。そして、活動の中で気になる点などを学校や保護者の皆さんに報告し、安全対策を検討していただいています。また、交差点や通学路を一緒に歩くことはできなくても、自宅の前で子どもたちに挨拶や声掛けをしていただく人も多くいます。

11地域のハザードマップを更新。6月から順次配布しています。

☎ 危機管理室 ☎ 63-7271

対象(指定区域変更)の11地域

名張、蔵持、川西梅が丘、薦原、比奈知、つつじが丘、春日丘、錦生、赤目、箕曲、青蓮寺百合が丘、国津

今回、指定区域に変更のない4地域(鴻之台・希中央、すずらん台、美旗、桔梗が丘)は、平成24年に各ご家庭に配布しているものを引き続き活用してください。



市では、洪水・土砂災害の危険箇所を示した「名張市 洪水・土砂災害ハザードマップ」を、国・県が指定する洪水浸水指定区域や土砂災害警戒区域などが見直された11地域について、更新を行いました。新しいハザードマップは6月から順次、各ご家庭に配布します。